活動名	きりたんぽ作り			(野:	(野外炊飯)		
ねらい	○ きりたんぽ作り(白飯つぶし、成形、焼き)の行程を通し、互いにかかわり合い、協力し合いながら完成 させることで、みんなで作る喜びや達成感を味わうことができる。						
条件	場所 炊事棟 (雨天時は大屋根広場も有) 時間 1.5時間:白飯つぶし、成形、焼き ※飯ごう炊飯をする場合はさらに1時間かかる。		対象 小学校高学年以上  人数 最大160人程度(※要相談)				
	<mark>時期</mark> 春~秋			<b>天候</b> 雨天時可(場所は要相談)			
提出物		書類用具貸出票、食事注文票					
準備物	<ul> <li>貸出 □ドラム缶コンロ(バーベキューコンロ)</li> <li>□網ばさみ</li> <li>□ボウル □杉棒(一人2本)</li> <li>□おたま □スプーン</li> <li>□カセットコンロ</li> <li>□ステンレス深鍋</li> <li>食堂 □ご飯一人1合(きりたんぽ2本分)</li> <li>□きりたんぽの汁、セリ</li> <li>□みそつけたんぽ用みそ</li> </ul>			団体       □ハンドソープ □調理用手袋 □マッチ         準備       □木炭(ドラム缶コンロ1つに9kg) □着火剤         □チャック付き袋(A4) □焼き網 □食塩         □みそぬり用はけ □ガスボンベ         □どんぶり □割り箸 □ごみ袋大小         □ふきん □がんこたわし □スポンジ         □台所用洗剤 □ペーパータオル         個人         準備         □ハンカチ □軍手			
展開	事前 1 場作り(活動場所の確認、道具の配置) 2 事前説明(活動内容や手順、注意点の確認) 3 食事場所の確認(炊事棟A前テーブル 6人掛け×21 炊事棟B前テーブル 6人掛け× 4 後片付けの仕方の確認(ゴミの分別処理、貸し出し用具の返却、残飯拾い、テーブルと					[元)	
	活動 ※1人で2本作る。						
		流れ	調理手順	まんたらめ貸出	団体準備	個人準備	
		1 炭おこし	①火の根元をあおぎ、炭全体に火が まわるようにする。(職員助言有り)	□網ばさみ □ドラム缶コンロ	<ul><li>□炭 □うちわ</li><li>□着火剤 □マッチ</li><li>□焼き網</li></ul>	□軍手	
		2 きりたんぽ 作り(成形)	<ul><li>②おひつのご飯をどんぶりに分ける。</li><li>③ビニール袋にスプーン2杯の食塩水を入れて中をぬらし、ご飯を入れて粒が見えなくなるまでつぶす。</li><li>④食塩水をつけた杉棒に、ボール状のご飯を刺し、先が出ないように棒に沿って握りながらのばす。</li></ul>	□ボウル □スプーン □杉棒	□どんぶり □食塩水(作る) □チャック付き袋 □調理用手袋	□三角巾 □エプロン □マスク □ハンカチ	
		3 きりたんぽ 焼き	⑤ きりたんぽをはじめ遠火で熱し、表 面が乾いたら網の上にのせ、焼き目 を全体に付ける。		□焼き網	□軍手	
		4 食事	<ul><li>⑥一本目:焼けたきりたんぽにみそを 塗り、熱いうちにいただく。</li><li>⑦二本目:きりたんぽから杉棒を抜き (杉棒は水につける)、手でちぎって だし汁に入れ、セリを加えいただく。</li></ul>	□カセットコンロ □おたま □ステンレス深鍋	<ul><li>□みそぬり用はけ</li><li>□ガスボンベ</li><li>□割り箸</li><li>ごみ袋大小</li></ul>		
	<b>事後</b> 後片付け						
		流れ 1 ボウル、杉木 ・汚れを ・水気を ・職員の	奉等の貸し出し用具を返却する。 としっかり落とす。 とへーパータオルで拭き取る。 )点検を受け、返却する。 コーンの残菜、地面に落ちたご飯等を	<ul><li>団体準備</li><li>□台所用洗剤</li><li>□がんこたわし</li><li>□スポンジ</li><li>□ペーパータオル</li><li>□ごみ袋大</li></ul>			
		3 使用したテーブル、流しまわりをふく。			□ふきん		
安全管理		□火傷対応 □食物アレルギー対応					
配慮事項		<ul><li>・きりたんぽに成形しやすくするために、ご飯は熱いうちに、粒が見えなくなるくらいつぶす。</li><li>・杉棒は、きりたんぽを抜き取りやすいように、前日から水に浸しておく。(※要相談)</li><li>・きりたんぽをぬきとった杉棒は、洗いやすくするために、すぐに水につける。洗った後はよく乾かす。</li><li>・用具返却の際、職員の点検を受ける。</li></ul>					

## きりたんぽ作りの様子



食堂からごはんを受け取ります。



つぶしたごはんに杉棒を刺し、棒に沿ってのばします。



表面が乾いたら網にのせ、焼きます。



熱いうちにいただきます。



おいしくいただきます。



飯ごう炊飯から行うことも可能です。



ごはんを袋に入れ、指でつぶしていきます。



焼きはじめは網にのせず、炭火で表面を乾かします。



はけで特製みそをぬります。



2本目は手でちぎって、きりたんぽ汁にします。



ドラム缶コンロの他、バーベキューコンロも使用できます。



ゴミは燃やせるゴミと生ゴミに分別します。